

令和6年度 第2回 中郡小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月18日（火） 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 中郡小学校 学習室
- 3 出席委員 本間 義章、村木 文吉、村木 富代、河合 洋子、村松 康乃、小杉 国宏
- 4 欠席委員 高井 昭、松本 英也
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター主事）
- 6 学校支援コーディネーター 鈴木 尚子
- 7 学 校 渥美 公恵（校長）、佐藤 佳史（教頭）、松原 祐記子（主幹教諭）、岡元 まり（CSディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 岡元 まり
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、本間会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）1学期の学校の様子について
- （2）ハートフルサポーターの活動について（学校支援コーディネーター）
- （3）防災について

13 その他

- ・夏休みの子供教室について
- ・地域学校協働活動「ボランティア講座」について
- ・次回の開催日程について

14 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議は成立している旨の報告があった。また、会議録作成のため録音する旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。

（1）1学期の学校の様子について

○主幹教諭から、子供たちの学校での様子やタブレットを使った学びについて、写真を提示しながら説明があった。保護者向けの教育説明会では、PTAからコミュニティー・スクールやハートフルサポーターの紹介があった。5年生が行っていた村木文委員の協力による米づくりは、親子参加のPTA活動として引き継がれている。また教頭から、車での送迎（車道での乗降）について、校内乗降へ誘導している旨の報告もあった。

（2）ハートフルサポーターの活動について

○学校支援コーディネーターから、4月からの活動の様子と今後の活動予定について説明があった。初めてサポートを受ける教員の不安は払拭され、子供たちは困らないようにサポートを受けている。

本間委員：サポーターを地域別にまとめた。口コミで地域全体へと広めていきたい。

村木文委員：準備のために活動は早めに知らせてもらいたい。

河合委員：今年度の新規のサポートはあるのか。

学）9月の彫刻刀を使う工作補助が新しい。

（3）防災について

本間委員：コミュニティー・スクール5年目となり、委員としての任期満了までの2年間で何か形に出来ればと思う。河合委員を交えて話をし、まずは学校にいる時と登下校時を考えていくのはどうか。また、子ども110番の家を今一度確認して普段から交流を持てるようにしてしていくのはどうか。

学) 事前に本間会長、河合委員と話をし、ゴールは避難所の開設・運営と考えている。

河合委員：災害はいつ起こるかわからない。登下校中や下校後も考えなければいけない。平常時と非常時を見据えて、今年度は平常時（何もない時）に出来ることをしていくとよいと思う。

村木富委員：学校から遠い地域なので、避難所（学校）までたどりつけるか心配。通学路の途中に避難できる場所があるとよいと思う。

村木文委員：通学路を保護者も一緒に歩いて、現状を知ってほしい。

本間委員：今月25日の「交通安全リーダーと語る会」をその機会にしてもよい。自治会長、地区によっては副会長も集まる。

河合委員：通学路を歩く時に自主防災隊に来てもらうとよい。

小杉委員：自治会によって自主防災隊がしっかりしているところとそうでないところがある。声はかけていきたい。

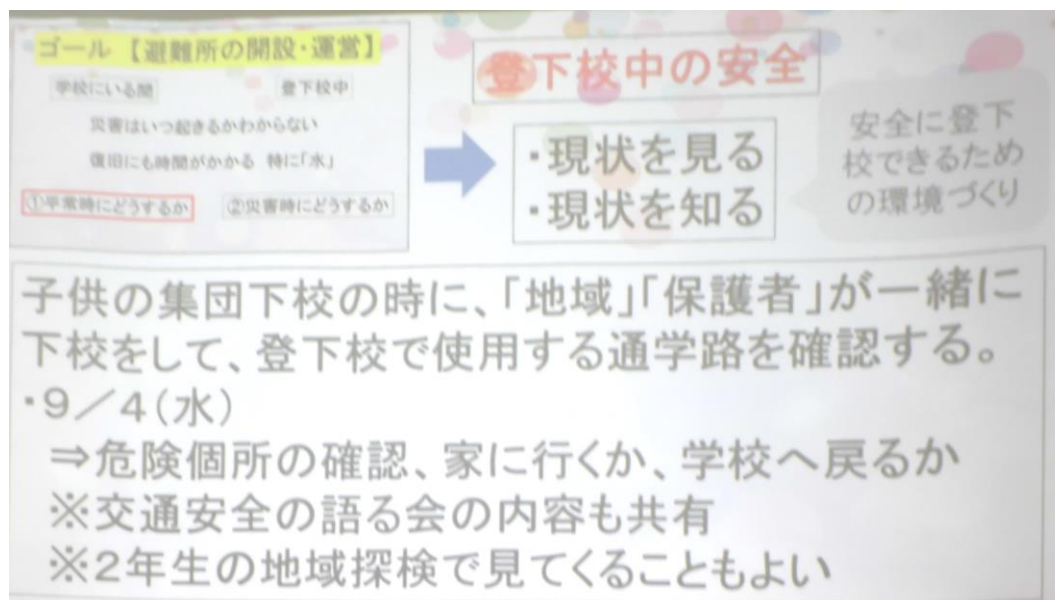
学) 9月4日（水）に防災訓練後に集団下校がある。危険個所の確認ができるとよい。

村松委員：登下校時にどこを歩いている時に学校へ戻った方がいいのか、避難判断が難しい。

小池様：協働センターは準避難所となっている。協力できるところは協力していきたい。

本間委員：登下校優先で防災のことを考えていきましょう。

○その後、本間会長から、子ども見守りボランティア制度、子ども110番の家、旗振りボランティアについて説明があった。



(4) その他

○夏休み子供教室について話があった。

○地域協働活動のボランティア講座の案内説明があった。

○教育総務課井島様から、委員の任期について詳しい説明があった。

○夏の職員との懇談について話があった。

(5) 連絡

○学校運営協議会の開催予定について

第3回 10月 9日（水）午前中